

展覧会のご案内

2022.4.16(土)~2022.6.12(日)

イサム・ノグチ「光の彫刻」展

和紙と竹が一体となって生み出された、モダンデザインの名作

併催 うっとりがみの「透かし折り紙」展

光と灯で広がる癒しの世界



イサム・ノグチ《UF4-L10》(1986) ©宮川邦雄

イサム・ノグチは、1950年代に来日し、岐阜提灯のデザインの近代化に寄与しました。本展では、飛騨・世界生活文化センターが収蔵する約90点の「あかり」作品を借用し、展示します。さらに、彼を撮影した写真家故田中一郎（高山市）の未公開写真も併せて紹介します。

「透かし折り紙」は、北欧の国に伝承されていた折り紙を、デザイナー中村香代（神奈川県）が日本の風土に合うように生み出したものです。本展は、その美しさを味わい、日々の暮らしへの癒しや希望を演出し、明日への元気を届けようとするものです。

2022.7.2(土)~2022.8.21(日)

茂住菁邨書展 一言霊の響一



茂住菁邨（本名：茂住修身）は飛騨市古川町出身の書家です。大東文化大学在学中より青山杉雨に師事し、現在まで日展等の公募展に出品するなど、「書道」を追求し続けています。

書家として活躍する一方、大学卒業後はその能力を活かして内閣府の辞令専門職の任に付き、総理大臣や国務大臣の認証官等の辞令書揮毫に携わりました。新元号「令和」発表の記者会見では、官房長官の掲げた墨書を茂住が揮毫したことは記憶に新しく、彼の書がより一層全国に知れ渡る転換点となりました。

本展は41年に渡る辞令専門職としての任務を紹介するとともに、茂住の書家としての足跡を振り返ります。

2022年9月より、修繕工事のため飛騨市美術館は休館させていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。次回の開館は2023年4月を予定しております。

詳細は決まり次第、飛騨市美術館 HP でお知らせします。

その他展覧会

■文化の薫り展 2022.8.27(土)~2022.8.31(水) 予定

主催 飛騨市文化協会

■第18回飛騨市美術館展 2022.9.18(日)~2022.9.25(日) 予定

主催 飛騨市、飛騨市教育委員会

場所 古川町公民館（総合会館）大会議室、研修室2号

■美術教室発表展 2023.2.11(土)~2023.2.19(日)

主催 飛騨市教育委員会

場所 古川郷土民芸会館

■飛騨市美術館コレクション展（仮称） 日程未定

主催 飛騨市教育委員会

場所 飛騨・世界生活文化センター内ミュージアム飛騨 1F 展示室

※展覧会の日程等は変更する場合があります。最新情報はHPをご覧ください。